



2015-2016年度 R. I. テーマ



「篆刻」石崎 巖 会員



- ◆ 会長 木下 茂 ◆ 幹事 宮崎 繁幸
- ◆ 発行 会報委員会 11月担当 関 口

第2333回例会 11月10日(火)

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ 国歌斉唱
- ◆ ローターソング 「奉仕の理想」
- ◆ 四つのテストの唱和 職業奉仕委員会
- ◆ ゲスト
交換留学生 オリビア・スミス 様

ハッピーバースデー

・11月11日 宮 崎 夫人

◆ 会長挨拶

みなさんこんにちは。

11月3日(火)が休日のため、2週間ぶりの例会となります。

今月もよろしくお願ひします。

休日は「文化の日」でした。前日までの雨、深夜の雷でゴルフを楽しみにしておられた方々も不安な目覚めだったかと思いますが、一転好天に恵まれ、紅葉のもとさわやかな一日を過ごされたことと思います。

又、この日は魚津工業が富山第一を下し、35年ぶりの花園行きを決めています。

一方、厳寒の1月、富山空港に降り立った交換留学生オリビア・スミスも、日本での春・夏・秋が過ぎ、この

日を区切りにしてホストファミリーは宮田さん宅へと変わりました。

やがて帰国の準備になりますが、慶野さん、清河さん、畠山さん、佐々木さん、宮田さん有難うございました。

11月3日、国際奉仕委員会の関さん、富川さんと話して、お世話になった方々とささやかな昼食会を、事務局の浅井さんも含めて行わせてもらいました。

◆ 出席報告 (吉野委員)

- ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 20名 71.42%
- ・欠席者 芦崎さん、畠山君、慶野君、小林君、南君、扇谷君、鈴木君、関君の諸君
- ・前々回(2331回)の修正
メーク・アップ 鈴木君、慶野君、関君、原君の諸君
67.85%→82.14%

◆ 幹事報告

- 魚津市暴力追放運動推進協議会より
・安全パトロールの実施について
- 榎新川インフォメーションセンター
・CM協賛の御礼

☆11月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
11/17(火)	夜間例会	喜 楽
11/24(火)	卓話担当：長田君	信金5階

創立1968年(昭和43年)5月27日〔第2610地区内創立順位19〕

例 会：火曜日 12:30 於. にかわ信用金庫本店5 F TEL(0765)24-1155 第3例会 18:30 於. 喜楽 TEL(0765)22-0715

★11月のSAA補助

長田君・宮田さんの諸君です。よろしくお願いします。

◆ニコニコボックス

- ・森 國光君：TVの県民ショーで紹介され反応の多さにおどろいております。ありがとうございました。
- ・加納綾子さん：思いもかけませぬ俳句に推して頂き有難うございました。
- ・関口 斎君：一年経ちました。ゴルフ同好会へも入会させていただきました。これからもよろしくお願いします。
- ・牧野健吉君：11月3日の西RCコンペで吉田さんのおかぶを取り、新ペリアで優勝させていただきました。次回も楽しみに参加してください。
- ・長田達明君：発明教会の中部発明表彰で受賞しました。常に恥じないよう、これからも頑張りたいと思います。

今週までの合計額 287,000円

◆卓話「日本の伝統文化 お餅つき」

窪田琴美さん



第2334回例会 11月17日(火)

- ◆点鐘 木下 茂 会長
- ◆司会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ロータリーソング 「それでこそロータリー」

◆会長挨拶

日曜日の雨で色付いた紅葉も散り、11月半ばになると、今年も終わりが近いという思いがします。

先週フランスでの同時多発テロに見舞われた花の都パリは、大勢の観光客でにぎわう街に衝撃が走り、世界中でテロへの怒りと憤りを新たにしました。

当会場での例会は、今年最終になります。

先週の例会卓話は窪田さんのもちつき、その前は吉野さんの自動車整備業界の話、次週はベテランの長田さんの卓話と多彩な内容が続きます。

年末が近づき多忙な日々でしょうが、引き続き出席率の向上の協力をお願いします。

◆出席報告 (南副委員長)

- ・出席率 会員30名中(出席免除者2名) 18名 64.28%
- ・欠席者 芦崎さん、畠山君、原君、石崎君、窪田さん、慶野君、小林君、鈴木君、関君、吉田君の諸君
- ・前々回(2332回)の修正
メイク・アップ
久津谷君、長田君 82.14%→89.28%

◆ニコニコボックス

今週までの合計額 287,000円





第2335回例会 11月24日(火)

- ◆ 点 鐘 木下 茂 会長
- ◆ 司 会 宮崎 繁幸 幹事
- ◆ ロータリーソング 「我等の生業」

☺☺ ハッピーバースデー ☺☺



11月24日
南 君

- ・ 11月28日 扇 谷 夫人
- ・ 11月30日 関 夫人

◆ 会長挨拶

先日、新川文化ホールで開催の「第55回魚津市美術展」に出席してきました。

開会式の後、展覧会場にて各部門の講評会があり、絵画、書、彫刻・工芸、写真の応募作品157点を一巡し、招待作を加え219点の展示を観てきました。

魚津西ロータリークラブも後援しているのので、絵画「大観覧車水面に映る」(山越さん)、書「厳寒の協奏曲」(藤森さん)、彫刻・工芸「富士山に静大の絵皿」(ユーリンサイ)、写真「花のれん」(松井さん)への授与となりました。

今日卓話の長田さんが、審査・運営委員をやっておられます。

後ほど解説をいただきます。

来年は、市美術展鑑賞を野外例会として入れるのもよいかと思います。

◆ 出席報告 (南副委員長)

- ・ 出席率 会員30名中(出席免除者2名) 23名 82.14%
- ・ 欠席者 島山君、原君、加納さん、小林君、牧野君、鈴木君の諸君
- ・ 前々回(2333回)の修正
メイク・アップ なし

◆ 幹事報告

☆12月度例会案内

	活 動 内 容	例会場
12/1(火)	卓話担当：ゲスト卓話 理事会	信金5階
12/8(火)	卓話担当：柴垣君 Rの友・情報紹介	信金5階
12/15(火)	クリスマス家族会	ホテルグランミラージュ
12/22(火)	クラブ年次総会：会長・幹事	信金5階
12/29(火)	休 会	

★12月のSAA補助

関口君・窪田さんの諸君です。よろしくお願ひします。

◆ ニコニコボックス

- ・ 佐々木祐司君：娘ののんが「帰国生入試」という変わった試験で、東京の大学に合格することが出来ました。安心です。ありがとうございました。

今週までの合計額 305,500円

◆ 卓 話 「魚津市美術展について」



長 田 達 明 君

今日は、「魚津市美術展について」卓話をさせていただきます。

* 魚津市美術展の概要

- ： 開催期間 平成27年10月31日～11月5日
- ： 出品資格 魚津市の在住者 出身者 勤務者
- ： 主 催 魚津市 魚津市教育委員会
新川文化ホール
- ： 共 催 魚津市美術文化協議会
- ： 後 援 魚津市文化協会 魚津商工会議所
魚津ロータリークラブ 魚津西ロータリー
クラブ 魚津市観光協会 新川青年会議所
- ： ジャンル 絵画 書 彫刻・工芸 写真の4部門

* 魚津市展のコメント (写真の部)

(市展大賞)

「荒天・滝模」東 昂

- ・富山県と新潟県の県境の市振での写真
- ・裏日本の厳しい冬をうまく表現
- ・雪が屋根に積もった船小屋、荒れた波は迫力があり、望遠レンズで遠近感を圧縮し、船小屋が波にのみ込まれそうな緊張感がある力強い作品
- ・白黒で表現したことが良かった

(市展賞)

「幻想」神尾 育子

- ・海外（ニュージーランド）の観光に行った時の写真
- ・一般的に観光名所で撮った写真は観光写真になりがちだがこの写真は違う
- ・目がいくのは山間の間に白く垂れ下がった雲で、そこにタイミング良く光が差し込んだことで朝の澄み切った空気感を感じる
- ・さらに水面の波紋が、この場の静寂さを感じとることができる
- ・静けさの中に静と動を生かした存在感のある作品

(魚津市議会議長賞)

「逆さチンネ」荒木 幸子

- ・逆さチンネということですがこれも海外での写真
- ・赤く焼けた山を直接見せるのでは無く、水面に写り込んだ山を主役として映り込みから実際の山を連想させる作品
- ・赤く焼けた山とグリーンの間にある黒い山影が、画面を引き締め効果的

(文化協会会長賞①)

「信号は赤」佐伯 邦夫

- ・題名が「信号は赤」と言う題名から、「集団的自衛権」や「憲法解釈」等で批判があることから、安部総理に警告しているように思う
- ・見方を変え現在、大活躍の安部総理と、役目を終えた古民家とのギャップが面白い

(文化協会会長賞②)

「おぼろ月夜」坂井 敬子

- ・月とスキだけで画面構成されている作品
- ・シンプルな場面構成の中に今 忘れられようとしている「お月見」と言う日本の古い文化を感じさせる

(商工会議所会頭賞)

「年老いて」村崎 武夫

- ・能登の上大沢の写真
- ・日本の原風景を感じさせる作品
- ・間垣と年老いて腰を曲げて歩く老婆とのバランスのとれた構図が良い

(魚津ロータリークラブ会長賞①)

「生きる 凜と」井出 寛子

- ・赤く色づいた夕方、雲を主役に鳥とを組み合わせた作品
- ・黒い雲が、街灯に止まった鳥を狙っているかのように想像させ、ドラマ性を感じさせる作品
- ・一般的な光景を、作品に仕上げた感性が素晴らしい

(魚津ロータリークラブ会長賞②)

「冬の朝」中田 旭

- ・冬の朝、雪が薄ら積もった時、人の足跡とタイヤの跡の組み合わせで、この作品から時代を感じることが出来る
- ・地球の誕生で雪、人類の誕生で足跡、車の誕生でタイヤ跡、まさに時代の流れを感じさせる作品

(魚津西ロータリークラブ会長賞)

「花のれん」松井 龍二

- ・桜の花と水辺をシンプルな構図でまとめた写真
- ・東山魁夷の日本画を見ているような格調のある作品
- ・静かに咲き誇っている桜の静と、水面のさざ波の動とが画面に活かされている

(観光協会会長賞)

「晩秋」神倉 繁

- ・縁側にイチヨウの葉が落ちて晩秋を感じる写真
- ・縁側の板の木目の質感もあり、イチヨウを引き立てている
- ・上部のイチヨウの葉も、単純な構図に変化を持たせ効果的

(新川青年会議所理事長賞)

「移ろい」飯田 恭子

- ・今回の魚津市展で、唯一三枚組みの写真
- ・三枚の写真で、限りある生命の移り変わりをうまく表現されている
- ・セミの抜け殻は生命の誕生、咲き誇る草花は美しい花の最盛期、枯れ落ちた百合の花は役目を終えた
- ・見る人が写真から物語を連想させる作品

